



「百物語」 横浜 終演しました



撮影：加藤昭裕

じつに4年ぶりの新作人形劇「百物語」。3月18日から21日にかけて、K A A T神奈川芸術劇場にて全7回の公演を終えました。公演終了後のアフタートークには大杉豊さん(筑波技術大学)、木ノ下裕一さん(木ノ下歌舞伎)も登壇し、構成・演出の白神ももこさんと人形劇ならではの表現方法や原作「百物語」の醍醐味などについてお話いただきました。

今回はコロナ禍の収まらぬ中での上演となりましたが、たくさんのお客様さまにご来場いただきました。本当にありがとうございました！

さらになんと、今年の12月には埼玉県富士見市の「キラリ☆ふじみ」にて「百物語」再演の企画も進んでいます。詳細は追ってHPなどでお伝えします。



撮影：加藤昭裕

【構成・演出】白神ももこ(モモンガコンプレックス)
【原作】杉浦日向子『百物語』(新潮文庫刊)
【人形美術】本川東洋子(人形劇団ひとみ座)
【舞台美術・衣装デザイン】長峰麻貴(テアトリカル・イデア)
【音楽】やなせけいこ【照明】伊藤泰行
【舞台監督】あおきたかし
【演出助手】北川結・モモンガコンプレックス
【表現監修】大杉豊(筑波技術大学)
【宣伝美術】郡司龍彦
【キャスト】足立沙樹／榎本トオル／鈴木文／やなせけいこ(以上デフ・パペットシアター・ひとみ)／河合祐三子／北川結・モモンガコンプレックス／高橋奈巳(人形劇団ひとみ座)／零境

百物語「客演

ひとみ座 高橋奈巳さんから

百物語の稽古場は色んなものが混ざって「こちゃ」ちやで大変面白い空間でした。ダンサー・役者・人形遣い・音楽・美術、いろんな分野の表現者が集まり、コミニケーションも音声・手話・身振り手振り・文字・絵など様々。お芝居だって身体表現・ダンス・人形劇・影絵それに照明や音楽も加わって、そのどれもが同じように舞台上に存在し混ざりあって世界を作っていました。

当然、稽古は一筋縄ではいきません。私は人形劇団ひとみ座からの客演ですから、いつもやっている人形劇のやり方で稽古に臨みます。ダンサーさんはダンサーさんの、役者さんは役者さんの、デフ・パペはデフ・パペのやり方で、それぞれ違っていて。こだわるポイントもアイディアも違います。その違いが刺激であり発見であり分かつとる努力が一体感になり...と、本当に面白い作品づくりでした。

木下さんがアフタートークで仰っていました。江戸時代、よく分からない物事と我々の生活は地続きにあり、境界線は曖昧で「こちゃ」ちやで、あわいに潜むもの達と共に暮らしていたんだと。

曖昧で「こちゃ」ちや。この稽古場の在り様もこの作品を百物語たらしめていたのではないかとワクワクし密かに思っております。そしてこんな刺激的な作品を企画してくれたデフ・パペに感謝なのです。



中西優樹

『百物語』のK A A T公演が終了いたしました。

「コロナ禍の中での上演でしたが、たくさんのお客様に来て頂きました。」来場して下さった皆様、応援して下さった皆様、ありがとうございました。

今回の原作である杉浦日向子さんの漫画『百物語』ですが、地元の図書館においてあり、怖い話が好きだった僕は『百物語』というタイトルだけで怖い本だと判断して借りて読んでいました。

作品の内容は怖い話というより不思議な話、奇妙な話で僕が読んでいた怪談本とは違っぞ、と子どもながらに思いました。

ただ、不思議と心に残る作品で、何度も何度も読み返した記憶があります。

作品に描かれている怪異が日常と隔絶していなくて、まるで隣にあるように描かれていたため、子どもの頃の僕は窓の外や部屋の暗間に見たことのない存在を感じていたような気がします。

そういった雰囲気は、今回のデフパペ『百物語』でも十分に表現できていたかなと思います。

デフパペの『百物語』をみたお客様達が、隣にいる自分たちとは違う存在を感じるようになって、とても嬉しいです。

役者のコラム

3ヶ月に一度のこんには

鈴木文

今年のデフパペの新しい活動は、「乙女文楽をろう学校の子どもたちに紹介することです。デフパペ産みの親、ひとみ座では50年以上にわたり「乙女文楽の活動をしています。」

ろう学校の生徒さんにも伝統芸能にふれてもらいたいという劇団メンバーの思いが形になりました。ろう学校でのワークショップ経験があるデフパペと、ひとみ座の乙女文楽メンバーが協同して伝統人形芝居を伝えます。

先日メンバーが集まって、どうやったら伝わるか、と実践し検討しました。

まず参加する生徒さん全員に和の動きを体験してもらいます。正座から始めて、挨拶、立つ姿勢、すり足で歩く、と順を追って進みます。この歩く時、聞こえる人を対象にする場合は太鼓のリズムに合わせて歩みを進める、とやっています。この方法は聞こえない人にも振動でリズムが伝わるので良いのでは、と試しましたが、結果そのリズムに合わせることに気が行って、正しい姿勢を意識しながら歩くことが疎かになってしまい、太鼓は始まりと終わりの合図で叩くに留めることにしました。そこから、実は聞こえる人であってもリズムを意識しすぎることでもっと重要な部分から気が逸れてしまう場合があるかもしれないと気が付きました。

大げさに言えば、異文化の衝突で発見がありました。この企画をきっかけに、聞こえる人だけの乙女文楽にも色々発見が見つかって行くと思います。

近況、あれやこれや

公演

◆2月21日 国立市立第八小学校にて「一寸法師」を上演しました。

◆3月18日～21日 K A A T神奈川芸術劇場にて「百物語」を上演しました。

その他

◆各地の小中学校でワークショップ「O△□のWS」「榎本トオルのWS」を実施しました。

◆2月24日 屋久島の就労支援施設「じゃがいものおうち」の利用者さんを対象に「人形・楽器づくりWS」を実施しました。

◆3月28日～31日 榎本トオルが日本ろう者劇団、カンパニー「デラシネラ」との集中WSに参加しました。

◆5月29日 東京都立立川学園にて「乙女文楽 ろう学校WS」を実施しました。(ひとみ座乙女文楽との共同企画)



写真は立川学園で行った「乙女文楽ろう学校WS」のひとコマ。ろうの子どもたちを対象に乙女文楽を教える、世界初?のワークショップです。

おしらせ掲示板

ご支援のお願い

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、デフ・パペットシアター・ひとみの上演の多くが延期または中止となり、また、依然として先行きの見えない状況が続いています。

今後の継続的な劇団活動のため、みなさまのご支援を賜りたく存じます。ご支援方法についての詳細は、デフ・パペットの企画運営を行う（公財）現代人形劇センターのホームページをご参照ください。

今後の公演・ワークショップ情報

おもな公演など

「河の童」

- ・7月16日 栃木市（栃木県）
- ・7月18日 大泉町（群馬県）
- ・7月23日 笠間市（茨城県）
- ・8月2日 豊後大野市（大分県）
- ・8月3日 日田市（大分県）
- ・8月5日 砥部町（愛媛県）

「一寸法師」

- ・9月18日 仙台市（宮城県）
- ・11月4日 佐伯市（大分県）
- ・11月6日 高松市（香川県）

「はこ/BOXES じいちゃんのオルゴール♪」

- ・10月11日 鷹栖町（北海道）★
- ・10月13日 札幌市（北海道）★
- ・10月17日 潟上市（秋田県）★
- ・10月18日 北秋田市（秋田県）★
- ・10月19日 羽後町（秋田県）★
- ・10月21日 三種町（秋田県）★
- ・10月24日 大崎市（宮城県）★
- ・10月26日 登米市（宮城県）★
- ・10月28日 大崎市（宮城県）★

「百物語」

- ・12月下旬 富士見市（埼玉県）

★は学校公演です。

「河の童」北関東公演 当日ボランティア募集！

7月に栃木県栃木市、群馬県大泉町、茨城県笠間市で開催します「河の童」公演で、お客さまのご案内など当日運営のお手伝いをしてくださる方を募集します。

耳が聞こえる／聞こえないや手話のできる／できないは問いません。具体的なお手伝いの内容は、個別に相談しながら決定します。

ご興味のある方は劇団まで！

TEL【044-777-2228】

FAX【044-777-3570】

Eメール【deaf_hp@puppet.or.jp】

★デフパペ友の会★

デフ・パペットシアター・ひとみでは【友の会】の会員を募集しています。

- ・年会費
- 個人会員 1500円
- ペア会員 2500円

・特典
デフパペ公演割引
グッズお買いものチケット
デフパペニュースお届け
オリジナルお誕生日カード

メール配信のご案内

メールでのデフニュース・その他公演情報の受信をご希望の方は、お手数ですが

- ①アドレス deaf_hp@puppet.or.jp までメール
- ②ホームページのお問い合わせフォーム

のいずれかの方法にて

- ・氏名
- ・ご住所
- ・デフニュースメール配信希望の旨

を本文にご記載のうえ、お知らせください。

◆役者募集中！◆

【仕事の概要】

全国での人形劇の公演・ワークショップなど

【条件等】

- ・ろう者、聴者は問いません
- ・手話でお話をするのが好きな方
もしくは手話に興味のある方
- ・年齢・入団日は応相談 詳しくはデフ・パペのHPにて！

